

## 亜細亜大学国際オープンテニス2019



3月17日(日)本戦6日目

亜細亜大学  
ASIA UNIVERSITY

## 女子シングルス決勝



ダリア・ロパテスカ選手

7-6(4).2-6.6-3



ガブリエラ・テイラー選手

本日は大会最終日。女子シングルの決勝戦が行われ、ウクライナの15歳ダリア・ロパテスカ選手とイギリスのガブリエラ・テイラー選手が激突した。両者は今大会でタフな試合を何試合もこなしてきたのだが、序盤から疲れの感じさせない動きで非常に魅力的な試合展開になった。ファーストゲームでガブリエラ選手がロパテスカ選手のサービスゲームをブレイクするとその勢いそのまま4-0と一気にゲームを離し試合を優位に進めていく。しかし、ロパテスカ選手もタイトル獲得のために意地を見せ徐々に本来のプレーを取り戻しポイントを重ねていく。土壇場でロパテスカ選手が追いつき、タイブレークに入ると追いつかれたガブリエラ選手は冷静さを失いフラストレーションを爆発させる場面も。タイブレーク4-5の場面でダブルフォルトを犯すなど精彩を欠いたガブリエラ選手に対し、冷静にポイントを重ねたロパテスカ選手が逆転でファーストセットを奪う。セカンドセットもファーストゲームでロパテスカ選手がブレイクポイントを2本握るもそれを生かすことが出来ずキープされると、ガブリエラ選手が第2ゲームでブレイクに成功。試合の流れは再びガブリエラ選手へ傾き、得意のストロークで深い場所にボールをコントロールしポイントを支配する。セカンドセットを6-2で奪い返し試合はファイナルセットへ。ファイナルセットは序盤に両者がそれぞれ1ゲームずつブレイクし激しい打ち合いが展開されたが、第7ゲーム、第9ゲームとロパテスカ選手が立て続けにブレイクに成功し頂点に駆け上がった。

## 一大会を通してー

今大会は昨年までとグレードが変わり賞金総額2万5千ドルに格上げされた。また、2月の後半から3月にかけて日本で同じグレードの大会が立て続けに開催される事もあり、出場した選手のレベルが非常に高かったように感じる。世界ランキング100位台の選手も数人出場し、本戦に名を連ねる面々の多くは200位台の選手たちでその中にはグランドスラムの予選に出場する資格がある選手や、実際に今年1月の全豪オープンに出場した選手もいた。テニスに人生をかける選手たちの真剣勝負や、それだけでなく試合以外の行動も間近で見ることが出来、今大会は例年以上に学ぶことが多かった。このように学生にとっても運営をしながら大会に携わり、得られたことの多くは同じテニス競技をするものとして素晴らしい財産であると感じる。

強豪揃いの今大会で頂点に立ったのはウクライナのダリア・ロパテスカ選手だった。コート外ではあどけなさの残る笑顔が印象的な15歳だが、スケールの大きいテニスや表彰式のスピーチではスター性を感じさせる一面も。近い将来彼女がグランドスラムの本戦に出場する場面を目にすることは想像に難しくない。

ロパテスカ選手だけでなく今回出場して下さったすべての選手にその可能性があり、そういった選手がこの大会から1人でも多く輩出されることを願ってやまない。

